

科目名	近代文学を読む2		科目ナンバー	CL-JL3222-Wj		
担当者 (実務経験名)	教授 桐生 直代					
履修期	2年後期			卒業単位	必修 2単位	
免許・資格	中学校教諭二種(国語)必修・司書教諭必修					
授業概要	戦後以降の文学史の概観をつかむ。 日本の現代作家の作品を通して、現代文学の特質を理解する。					
到達目標	知識・理解	現代日本文学について、文学史的な視点から作家・作品について知り、理解する。				
	思考・判断	現代日本文学作品の理解を通して現代文学の特質について考察する。				
	興味・意欲・態度	現代文学へのアプローチを意欲的に行うことができる。				
	技能・表現	読み取ったことや考察したことを適切な言葉で言い表したり、論理的文章で表現することができる。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		2
	2	文学者と戦争―高村光太郎の戦争詩を中心に		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	3	文学と検閲①―江戸川乱歩『芋虫』を読む		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	4	文学と検閲①―江戸川乱歩『芋虫』まとめ		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	5	戦後の出版事情 カストリ雑誌		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	6	文学と検閲②―ブランゲ文庫		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	7	文学と検閲②―ブランゲ文庫を調べる		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	8	戦後社会と文学①―坂口安吾『墮落論』を中心に		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	9	戦後社会と文学②―太宰治『斜陽』を読む		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	10	戦後社会と文学③―太宰治『斜陽』まとめ		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	11	戦争体験と文学①―梅崎治夫『桜島』を読む		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	12	戦争体験と文学②―梅崎春夫『桜島』を読む まとめ		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	13	原爆と文学①―林京子『空缶』を読む まとめ		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	14	原爆と文学②―林京子『空缶』を読む		【事前】シラバスを読む。【事後】本時を振り返る。		4
	15	まとめ		要点をまとめ、試験に備える		6
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験	○	○	○	○	60%
	レポート					
	課題	○	○			30%
	実技					
	受講状況・態度 その他()			○		10%
フィードバックの方法	課題は授業中に返却します。授業の振り返りに書かれた質問や感想等は次回の授業で説明、紹介します。					
教科書	授業中にプリントを配付します。					
参考書	安藤宏『日本近代小説史 新装版』(中公選書、2020年)他、授業中に紹介します。					
アクティブ・ラーニング	ペアワークやグループワークを取り入れることがあります。					
ICT活用	iPad等を用いて、資料の検索や情報収集・整理を行います。					
メッセージ・備考	文学史は作家・作品を理解するための見取り図です。様々な作家、作品に親しみましょう。					
関連科目	日本語日本文学科目すべて、国語科教育法					